



おおがき てるこ 議員
大垣 照子

質問

性犯罪回避に幼児期から教育を

教育長

発達段階に応じ丁寧に行う



統合により開校の仁多小学校

質問 本年4月より新たに仁多小学校が開校するが、通学手段は整っているか。

教育長 バス通学は2km以上で布勢、亀嵩、阿井は、各2台体制。また、バス乗車管理アプリを導入する。

質問 児童は統合後、慣れない環境下での学校生活となる。不安解消に町内在職校勤務の教師の配置について、県の配慮はなされたか。

教育長 統合初年度となり、統合・人数・通級指導等の加配を強く要望し、配慮する旨の回答を得ている。

質問 デジタル化の進歩でSNSに係わる問題や犯罪が多発している。子どもたちを被害者や加害者にしてはならず、これ等の機器の利用について、家庭と教育機関、行政との連携が必要。現状と今後の対応は。

教育長 情報モラル等の対応は、学校を中心に展開し、児童生徒を対象としたSNS活用の学習は、



幼児期からの性教育を
(出典：うみとりくのからだのはなし 遠見才希子著 童心社 2022年)

発達段階に応じ行われている。今後の対応は、家庭と行政、教育機関が連携し、何度も繰り返し教育を実施するのみと考えている。

質問 最近、性加害・性被害が多くなっている。知識のない子は狙われやすいとされ、被害に遭わないために、幼児期からの性教育の必要性について問う。

教育長 今最も大切な教育は幼児期から小学校1年に入るとき。架け橋カリキュラムを作り、年齢や発達段階に応じた性に関する指導を幼児期から丁寧に行うことが重要と認識している。本町では、県事業の「いのちの楽習講座」で助産師の話や絵本で命の大切さや性の違い等、自然な形で理解を深める取り組みがなされている。子どもたちが自らの心と体を尊重し、他者への思いやりを育むことで、将来的な性被害の未然防止につながると考えている。

その他の質問

除雪問題